

平成27年8月定例記者会見要旨（平成27年7月27日開催）

1. 北インターチェンジのフルインター化の必要性や課題などについて

6月30日に、坂出北インターがスマートインターチェンジ制度の準備段階調査の対象（全国で17カ所）に選ばれたと国土交通省から発表された。

坂出北インターについては、これまで坂出インターとの間隔や費用対効果の点がクリアできず検討が進んでこなかった経緯があるが、瀬戸・玉木両衆議院議員による国会での質問により国のスマートインターチェンジ制度を活用したフルインター化の検討が本格化し、今回その制度に関する調査地に決定したところである。

本市は、重点港湾であり耐震岸壁を備える坂出港を有するが、そこから北インターまでの約1.2kmは県の緊急輸送道路として指定されているほか、番の州工業地帯には電気・石油・LNGなどのエネルギー基地が集積し四国のエネルギー拠点となっていることから、それらの高速道路との円滑な接続は県内だけでなく四国の防災を考える上でも重要な意義があると考えられる。

また、北インターは近隣市町の臨海工業団地の主要な輸送路線となっているさぬき浜街道に直結していることから、フル化が地場産業および既存企業の振興発展や企業誘致などに与える影響も大きく、地方創生のための重要な基盤施設になるものと考えている。

事業費や財政負担等についてはほとんどが未定であるが、現段階で大きな課題はないと考えている。今後は調査についてできるだけ協力していくとともに、関係機関との協議を進める中で整備に向けた検討を行っていききたい。

2. まろブレ二次販売について

（引き取りが未済のものもあるが）25・26日の両日でほぼ完売した。